


平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

| | |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ | 【 II 】 |
| 2 実施対象者 | 郡山市立金透小学校 第6学年 26名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 () |
| 4 目標 (ねらい) | 大会を支えるボランティアの活動を知ること、オリンピック・パラリンピックを違った視点から見ることができ、東京大会が自分たちにとって身近なものに感じることでオリンピック・パラリンピックムーブメントの機運醸成をする。 |
| 5 取組内容 | <p>「大会を支えるボランティアの心構え」ではNPO 法人うつくしまスポーツルーターズの事務局長さんを講師にお招きし、オリンピックを支える側のボランティアの活動について授業をしていただいた。</p> <p>始めに、オリンピック・パラリンピックの歴史やねらいについて知るとともに、「国名クイズ」などを通して世界の国々について楽しく学びました。</p> <p>後半は、「ボランティアを行う人の資質」や「ボランティアの価値」について、みんなで考えました。ボランティアだからできること、ボランティアの魅力について、意見を交わしました。</p> |
| |  |

| | |
|-------------------------|---|
| 6 主な成果 | <p>オリンピックの支える側のボランティアの活動を知ることにより、オリンピックは自分たちから遠いものと考えていた子どもたちが、オリンピックを身近に感じることができ、福島で開催される野球・ソフトボールを観戦しにいきたいという気持ちになった。</p> |
| 7実践において工夫した点 (事業の特色) | <p>卓球競技の本当の面白さを体験させたいことから、専門的な指導をしていただくために、卓球協会の方々に学校へきていただいた。</p> |
| 8主な課題等 | <p>各競技の体験をするにあたり、学校には無い物品が多い。今回は卓球協会の方々にラケット30本、ボール等をご用意いただいた。</p> |
| 9来年度以降 の実施予定 | <p>来年度もスポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成をテーマに、子どもたちから体験してみたいオリンピック競技を調査し継続実施する。</p> |